

千歳市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

千歳市は支笏洞爺国立公園に指定されている支笏湖を源とする千歳川の清冽な流れと自然が育む豊かな大地に恵まれ、札幌市や苫小牧市など4市4町に隣接しており、面積は594.50km²で、人口は97,347人(R6.12.1時点)となっている。路線バスの利用者は自家用車の普及等により昭和40年代をピークに減少傾向にあり、また、まちづくりに関する各種市民アンケートでは、路線バスに対する満足度は低い結果となっている。

路線バスの利便性を向上させ交通ネットワークを充実させることは、まちづくりにとって重要な要素の一つであることから、平成27年度に地域公共交通網形成計画、平成28年度に地域公共交通再編実施計画を策定し、全市的なバス路線の再編を実施した。

また、令和3年度には地域公共交通計画を策定したところであり、本計画に基づき利用者の利便性向上のための運賃制度の導入や各施策の実施など、バス事業者の収支改善に取り組んでいる。

しかしながら、路線バスの利便性を向上させることは、財政的負担を伴うことにつながり、バス事業者や市の財政支援で賄うことが極めて困難な状況にあることから、国の地域公共交通確保維持改善事業を活用し、路線バスを基幹とする持続可能な交通ネットワークの構築と充実を図るものである。

生活交通確保維持改善計画の目標

令和6年度申請時における目標を以下のとおり設定した。

① 収支率(桜木線・みどり台線)

	令和6年度
	R6.10～R6.9
目標値	42.6%
実績値	43.5%

② 利用人数(市乗降調査) ※1日あたりの利用者数

	桜木線		みどり台線	
	目標	実績	目標	実績
冬	422人	335人	311人	267人
夏	252人	313人	207人	182人

① 収支率(東千歳デマンドバス)

	令和6年度
	R5.10～R6.9
目標値	14.3%
実績値	24.5%

② 利用人数 ※1年間の利用者数

東千歳デマンドバス	
目標	500人
実績	427人

地域公共交通の現況

- ・JR千歳線(千歳駅、南千歳駅、新千歳空港駅、長都駅)
- ・路線バス(北海道中央バス、千歳相互観光バス、道南バス、あつまバス)
17路線(内、地域間幹線系統2路線)
- ・東千歳デマンドバス(市内1路線)
- ・長都、中長都、釜加地区デマンドバス(市内1路線)
- ・スクールバス(6路線)

令和6年度事業概要

【みどり台線】運行事業者:北海道中央バス株式会社

運行区間:千歳駅～みどり台北2丁目

運賃:千歳駅～みどり台北2丁目間 100円～280円

【桜木線】運行事業者:北海道中央バス株式会社

運行区間:以下のとおり

運賃:100円～280円(循環路線)

・桜木線① 千歳駅～千歳駅(循環)

・桜木線② 千歳駅～千歳駅(循環) ※ショートカット型

【東千歳デマンドバス】

運行区域:千歳市東千歳地区(協和、幌加、新川、東丘、中央、泉郷、根志越)

運賃:協和・幌加・新川・東丘:大人600円 小人300円 学生300円

中央・泉郷・根志越:大人400円 小人200円 学生200円

協議会開催状況

令和6年6月 第1回協議会(書面)を開催

- ・協議事項:「路線バス専門委員会」における「協議運賃部会」の設置

令和6年6月28日 第2回協議会を開催

- ・協議事項:令和5年度事業報告及び決算報告、千歳市地域公共交通計画の変更など

令和6年8月 第3回協議会(書面)を開催

- ・協議事項:東千歳デマンドバス有効期間の更新登録申請

令和6年9月11日 第4回協議会を開催

- ・協議事項:バス路線の見直し

令和6年11月 第5回協議会(書面)を開催

- ・協議事項:図書館青葉線における土日祝日の運行

令和6年12月 第6回協議会(書面)を開催

- ・協議事項:図書館青葉線・市民病院プール線における道路運送法第4条運行への移行

令和7年1月27日 第7回協議会を開催

- ・協議事項:地域公共交通確保維持改善事業の事業評価(案)

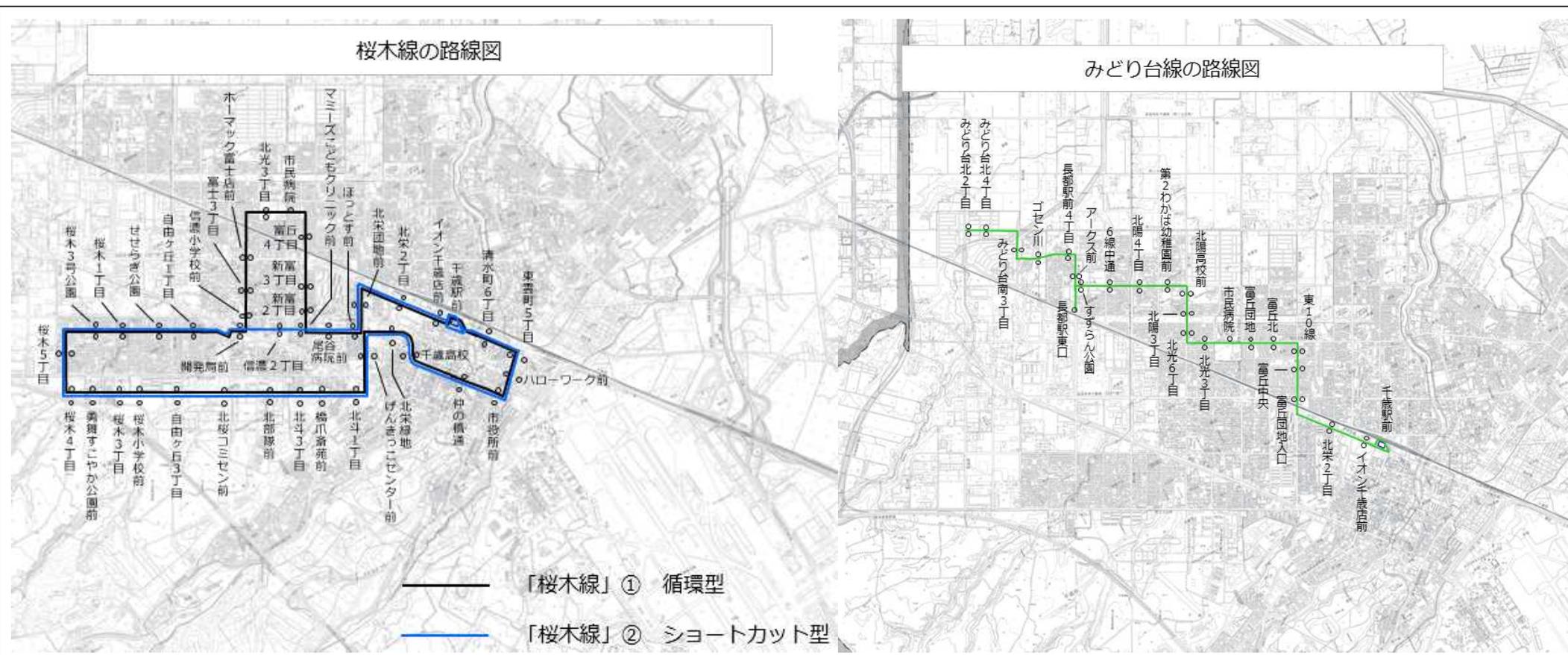
令和6年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

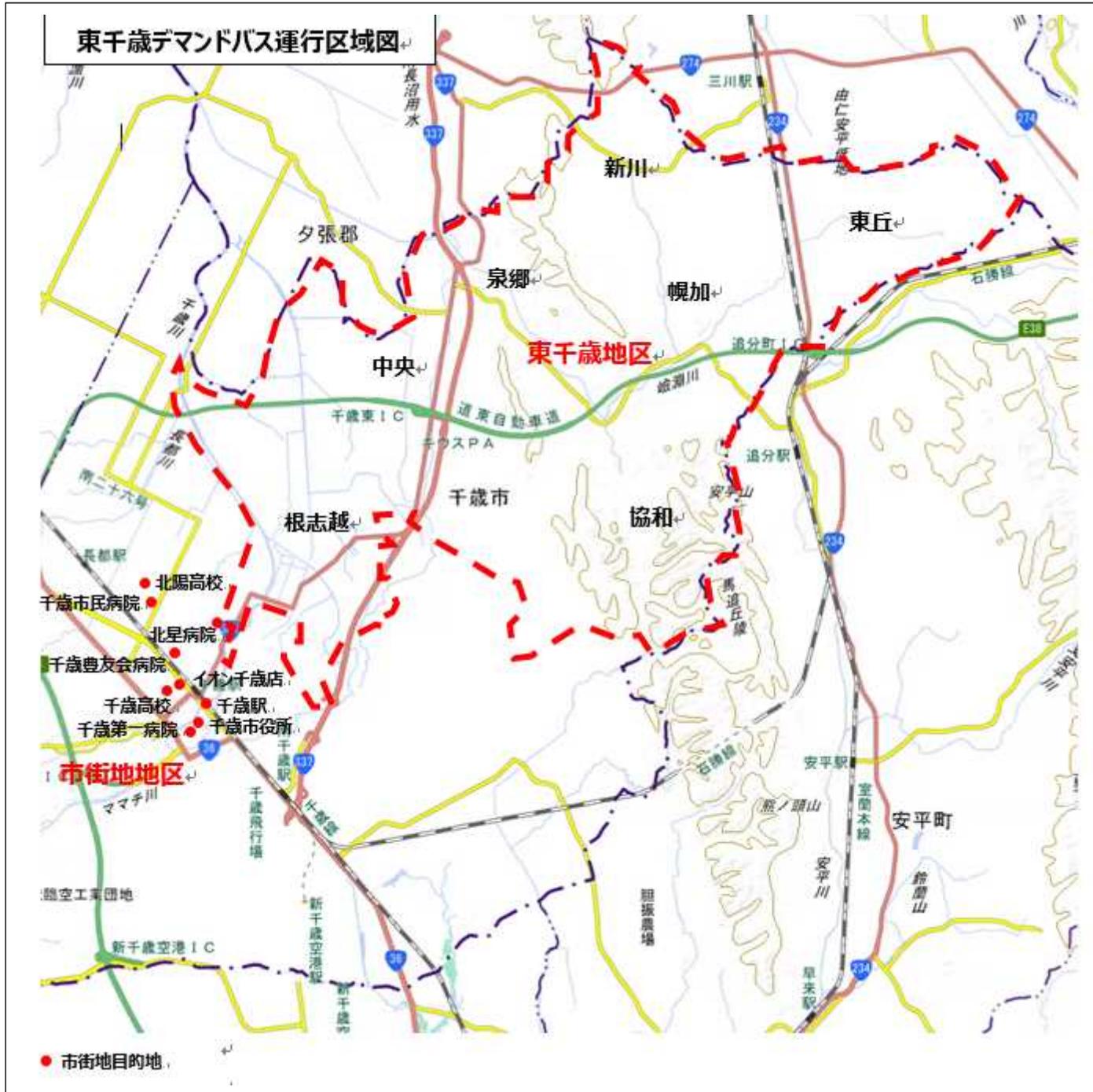
- ・市が提供している路線バス情報配信システムにバスの行先や運賃、現在地を確認することができる機能の追加を行い、路線バス利用者の利便性の向上に努めた。
- ・路線バス利用促進イベントを開催したほか、市内イベントに環境に配慮した移動手段として、ハイブリットバス等を紹介するパネル展を開催するなど、利用促進に取り組んだ。

[R5.10~R6.9の状況]

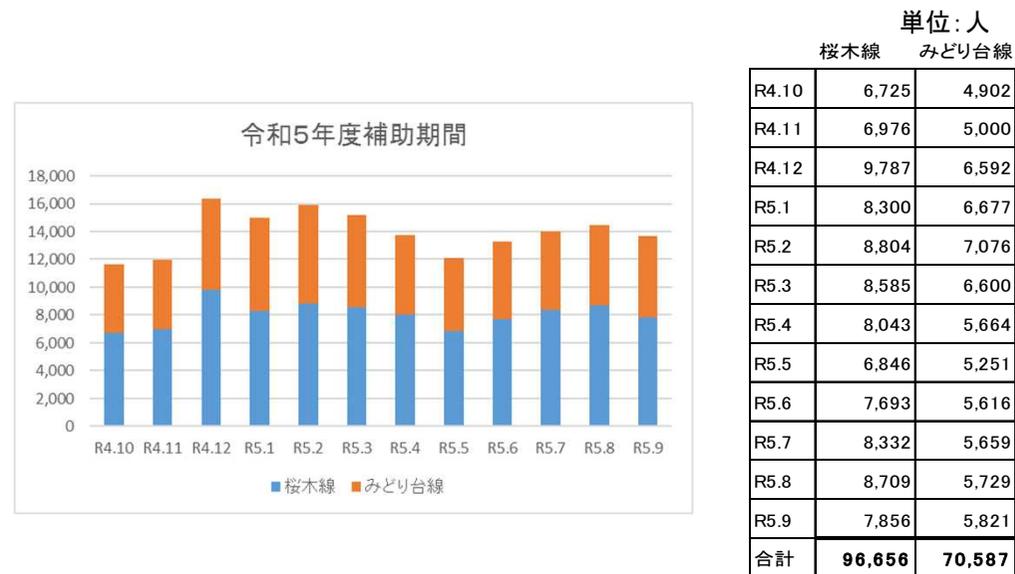
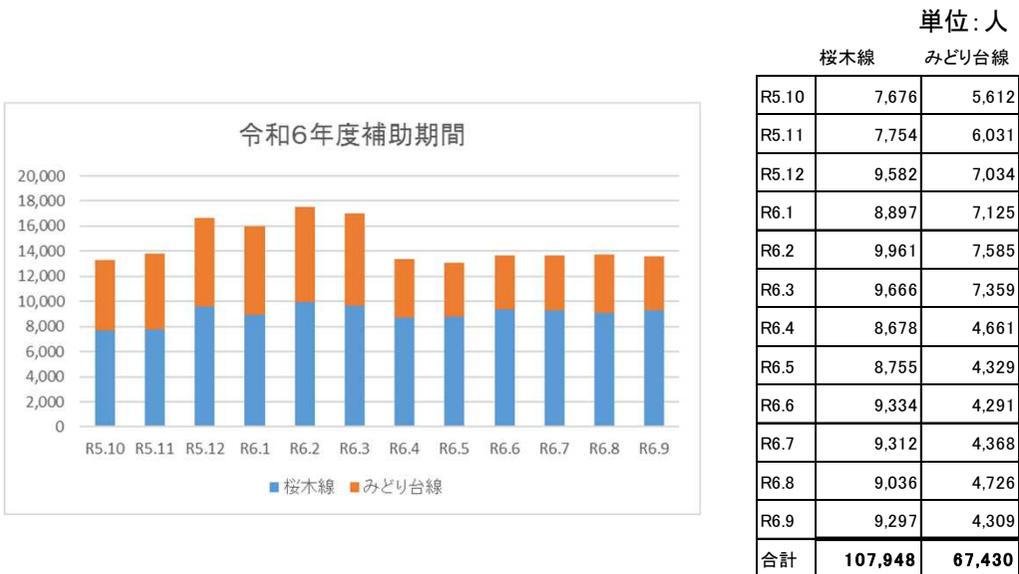
2) 運行系統 (桜木線・みどり台線)



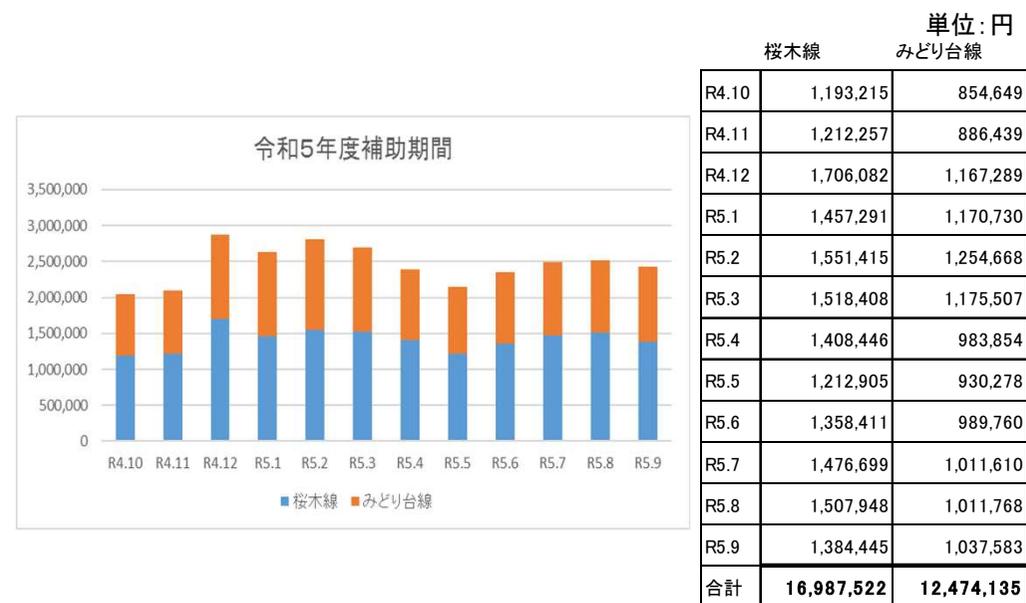
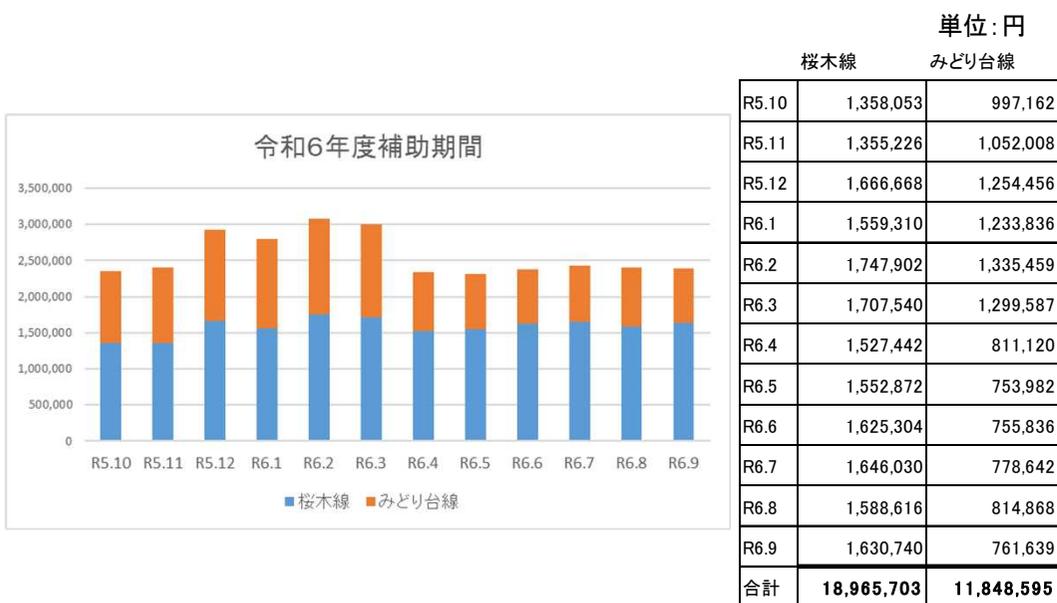
2) 運行系統 (東千歳デマンドバス)



3) 利用実績(桜木線・みどり台線)



4) 収入実績

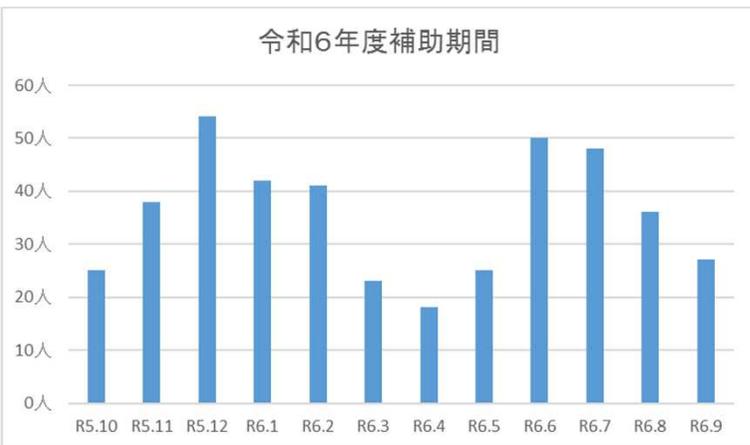


3) 利用実績 (東千歳デマンドバス)

単位: 人
東千歳

R5.10	25人
R5.11	38人
R5.12	54人
R6.1	42人
R6.2	41人
R6.3	23人
R6.4	18人
R6.5	25人
R6.6	50人
R6.7	48人
R6.8	36人
R6.9	27人
合計	427人

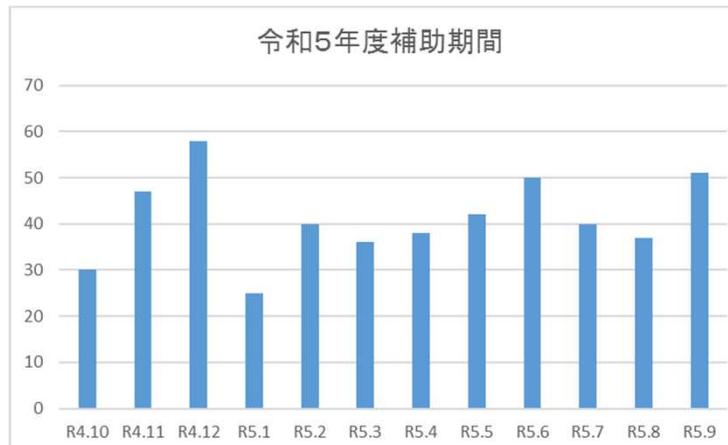
令和6年度補助期間



単位: 人
東千歳

R4.10	30
R4.11	47
R4.12	58
R5.1	25
R5.2	40
R5.3	36
R5.4	38
R5.5	42
R5.6	50
R5.7	40
R5.8	37
R5.9	51
合計	494

令和5年度補助期間

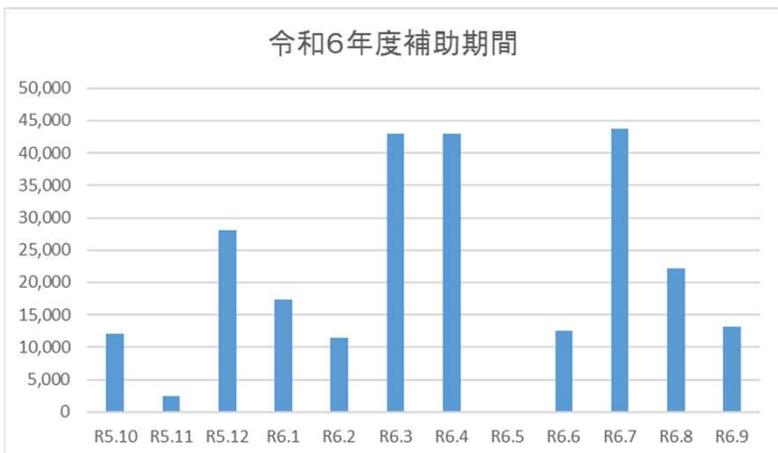


4) 収入実績

単位: 円
東千歳

R5.10	12,000
R5.11	2,400
R5.12	28,000
R6.1	17,400
R6.2	11,400
R6.3	43,000
R6.4	43,000
R6.5	0
R6.6	12,600
R6.7	43,800
R6.8	22,200
R6.9	13,200
合計	249,000

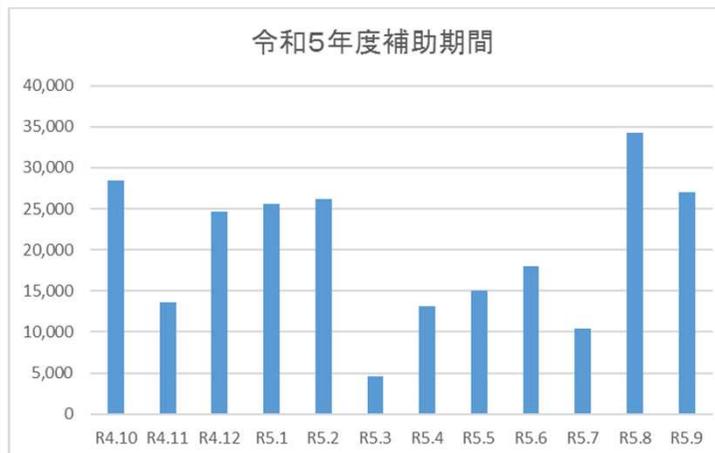
令和6年度補助期間



単位: 円
東千歳

R4.10	28,500
R4.11	13,600
R4.12	24,600
R5.1	25,600
R5.2	26,200
R5.3	4,600
R5.4	13,100
R5.5	15,000
R5.6	18,000
R5.7	10,400
R5.8	34,300
R5.9	27,000
合計	240,900

令和5年度補助期間



5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

1. 収支率について

【桜木線・みどり台線】

目標: 42.6% 実績: 43.5%

【東千歳デマンドバス】

目標: 14.3% 実績: 24.5%

2. 利用人数について（市調査）※1日あたりの利用者数

(1) 桜木線（市調査）※1日あたりの利用者数

目標: 冬422人、夏252人

実績: 冬335人(R05.12月)、夏313人(R06.4月)

(2) みどり台線（市調査）※1日あたりの利用者数

目標: 冬311人、夏207人

実績: 冬267人(R05.12月)、夏182人(R06.4月)

利用人数について、桜木線の夏季は目標を達成したが、それ以外は目標を達成できなかった。

収入については、目標を上回ることができた。

(3) 東千歳デマンドバス※1年間の利用者数

目標: 500人/年

実績: 427人/年

収支率は、目標を達成し、利用人数については目標を達成することができなかった。

7) 事業の今後の改善点

【桜木線・みどり台線】

本系統については、今年度収支率の目標を達成することができたが、依然として、収支率が低いことから収支率の改善が今後の課題であり、引き続き、自治体とバス事業者とが連携し、各種改善に向け、さらなる利便性の向上に取り組むとともに利用促進につながるような情報発信に努めていく。

【東千歳デマンドバス】

本系統については、デマンド型の運行形態をとっており、交通空白地における運行を行っており、収支率については、必然的に低くなっていくこともあり、市から補助金を出し、運行を支えている。

運行を行っている地区の人口的に日常利用については、あまり多くはない系統であるが、地元住民にとっては欠かせない移動手段であることから、継続的に運行することができるよう、周知等を行い利用促進につながるよう努めていく。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

(令和7年度分と併せて評価)